

ウォークアブル施策の潮流

高濱 康亘

国土交通省

都市局 街路交通施設課

街路交通施設安全対策官

Walkable City

都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会 中間とりまとめ

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生

～都市におけるイノベーションの創出と人間中心の豊かな生活の実現～

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」形成のイメージ例

※地域特性に応じた取組を、歩ける範囲のエリアで集中的あるいは段階的に推進
※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能



都市構造の改変等

- 都市構造の改変 (通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等)
○都市機能や居住機能の戦略的誘導と地域公共交通ネットワークの形成
○拠点と周辺エリアの有機的連携
○データ基盤の整備 (人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等)等

居心地が良く歩きたくなるまちなか

- Walkable 歩きたくなる
Eye level まちに開かれた1階
Diversity 多様な人の多様な用途、使い方
Open 開かれた空間が心地良い

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちなかに出かけやすくなる、歩きたくなる。
歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで見えたと、人は歩いて楽しくなる。
多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。
歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。



ウォーカブル推進都市一覧 (令和7年10月31日時点)

- 397都市が“WEDO”*の考え方に共鳴し、政策実施のパートナーとして、ともに具体的な取組を進めている。(令和7年10月31日時点)
○132市区町村がウォーカブル区域 (滞在快適性等向上区域)を設定。
*Walkable (歩きたくなる) Eyelevel (まちに開かれた1階) Diversity (多様な人の多様な用途、使い方) Open (開かれた空間が心地よい)

令和7年6月末時点で、都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域を設定した市区町村 (既に都市再生整備計画の期間が終了した市区町村を含む) :

Table listing 397 municipalities across various prefectures including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, and Kyushu.

賛同都市 397

合計 397都市

成熟社会の共感都市再生ビジョン（都市再生の方向性）

目指すべき都市再生の方向性

- 我が国は、人口増加局面で量的拡大を追求する成長社会から、**精神的な豊かさや生活の質、価値の向上に重きを置く成熟社会に移行。**
- 建築費の高騰による影響、人口減少等による需要の不確実性を踏まえ、**都市の個性と質や価値に着目し、大都市と地方都市とが連携しながら、中長期的に持続可能な都市の再生を図る必要。**

引き続き、都市の**普遍的魅力**を向上させるとともに、画一化することなく**固有の魅力**を一層高めていくため、**官民連携の創意工夫を促し、これを評価することで、都市に人々の「共感」を呼び込む施策を推進。**

安全性の高さ
利便性の高さ
快適性の高さ
：

都市の
普遍的魅力

都市の
固有の魅力

地域の歴史・文化、自然・景観
本物の雰囲気（オーセンティシティ）
コミュニティ、ローカルビジネス
：

子どもから若者・高齢者まで多世代が共創し、多様な価値観を包摂するインクルーシブなまちづくりを進めつつ、両方の魅力をともに高め、育てることが、人や投資を呼び込む都市の磁力の強化に繋がっていく。

必要な視点のポイント

- ①「**経済的価値**」と「**公共的価値**」を官民連携で両立するために計画段階からの協働を促進



「みどり」と融合した生命力あふれる都市空間（クランクライン大阪）

- ②都市の**固有の魅力**に着目し、**地域資源**である**既存ストック**の活用を促進



官民連携によるアーバンデザインの策定（群馬県前橋市 馬場川通り）

- ③まちを「育てていく」という視点により、**将来の可変性・柔軟性を許容する「余白」**の創出を促進



まちと人の関係を「発酵」させる支援型開発（下北線路街）



民有地を活用した「路地の公園化」(Slit Park YURAKUCHO)

成熟社会の共感都市再生ビジョン（取り組むべき施策）

1. 協働型都市再生によるウェルビーイングの向上

- 事業環境の変化を踏まえ、限られた事業費の中で収益を最大化する観点から、**魅力的な施設の整備及び管理運営に課題。**
- 脱炭素化等による環境負荷の低減、地域固有の文化の振興等に対応する**都市再生の理念を構築し、ウェルビーイングの向上を促進。**
- 持続的なエリアマネジメント、地方創生、アフォーダビリティの確保等、**ソフト面を含む多様な工夫を講じる公共貢献の評価を促進。**

2. 余白を楽しむパブリックライフの浸透

- 都市に**将来の可変性・柔軟性を許容する「余白」を残す**ことで、**パブリックスペースにおける多様な活動を創出する視点を重視。**
- **ウォーカブル政策とほごみち・交通政策との連携、民地も含むパブリックスペースの更なる利活用、事業初期の準備段階の充実を促進。**

3. 地域資源の保全と活用によるシビックプライドの醸成

- 登録有形文化財、地方指定文化財、昭和期に建てられた魅力的な建造物など、**毀損・滅失の危機にある地域資源をまちづくりに活用。**
- **シビックプライドの醸成による域内への磁力の強化、国内外の観光客の誘客による域外から稼ぐ力の強化・保全への再投資が必要。**
- 関係省庁で連携して、**歴史まちづくりの裾野の拡大、将来的な活用を前提としたエリア価値を高める地域資源の保全を促進。**

4. 業務機能をはじめ多様な機能の集積による稼ぐ力の創出

- 都市は、**創造的活動を活性化する「共創の場」**として、ヒト・コト・アイデアが集い、出会い、新たな価値やイノベーションを創造・創出する舞台。
- 立地適正化計画に業務機能をはじめ様々な機能を位置付ける等により、**居住機能との近接性の確保による居住者の利便性向上を促進。**

5. 共創・支援型エリアマネジメントによる地域経営

- エリアマネジメント団体は、**主体的に地域に関わり合いながら、居住者や来訪者等と新たな価値や営みを共創し、地域経営を担う存在へ。**
- **計画段階から将来的な管理運営を見据えた仕組みづくりや、エリアマネジメントの官民協調領域を位置付けた活動計画の策定を促進。**



空の広さにこだわったウェルビーイング・タウン（GREEN SPRINGS）



有志コミュニティによるパブリックライフ（シモキタ園芸部）



歴史的資源を活用したシビックプライドの醸成（愛媛県大洲市）

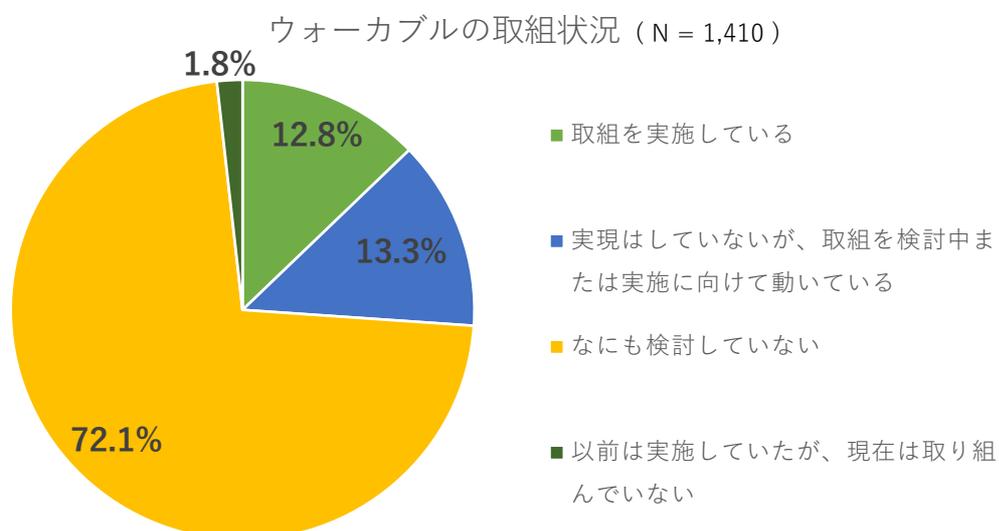


官民協調によるエリアマネジメント（兵庫県神戸市 サンキタ広場）

各地域の取組状況

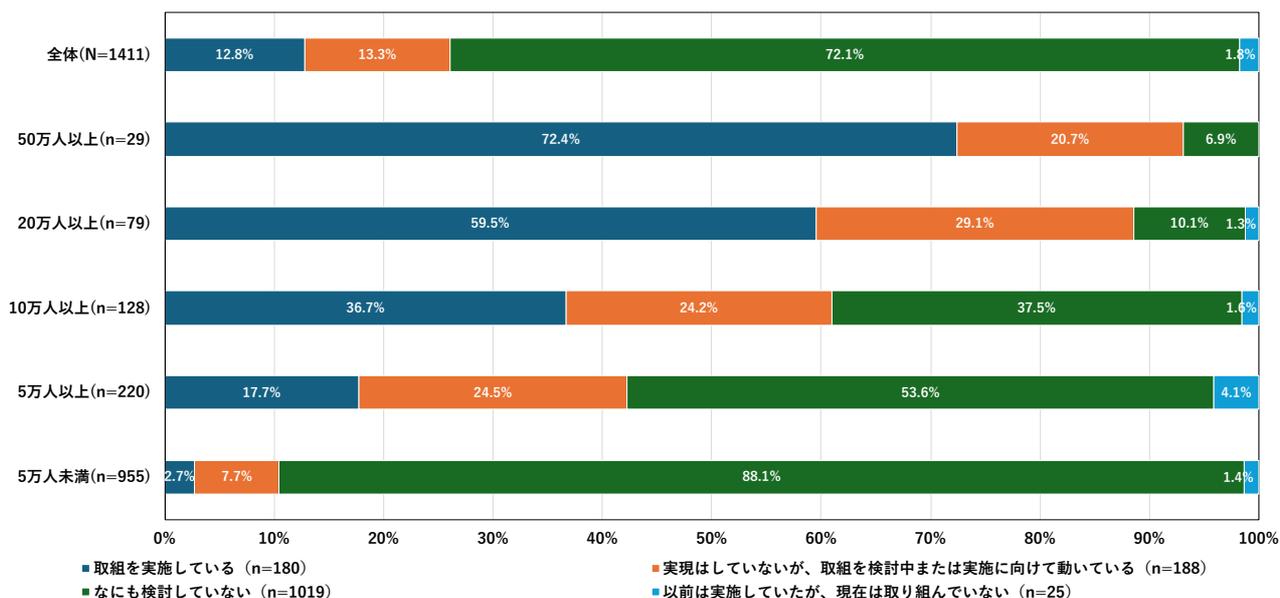
まちなかウォークブル政策に関する実態調査

- 全国の市町村を対象に、ウォークブルに関する取組をアンケート
- 期間 | 2025.09.16 - 2025.10.07
- 回答数 | 1,411 自治体（全国の約 8 割の自治体が回答）



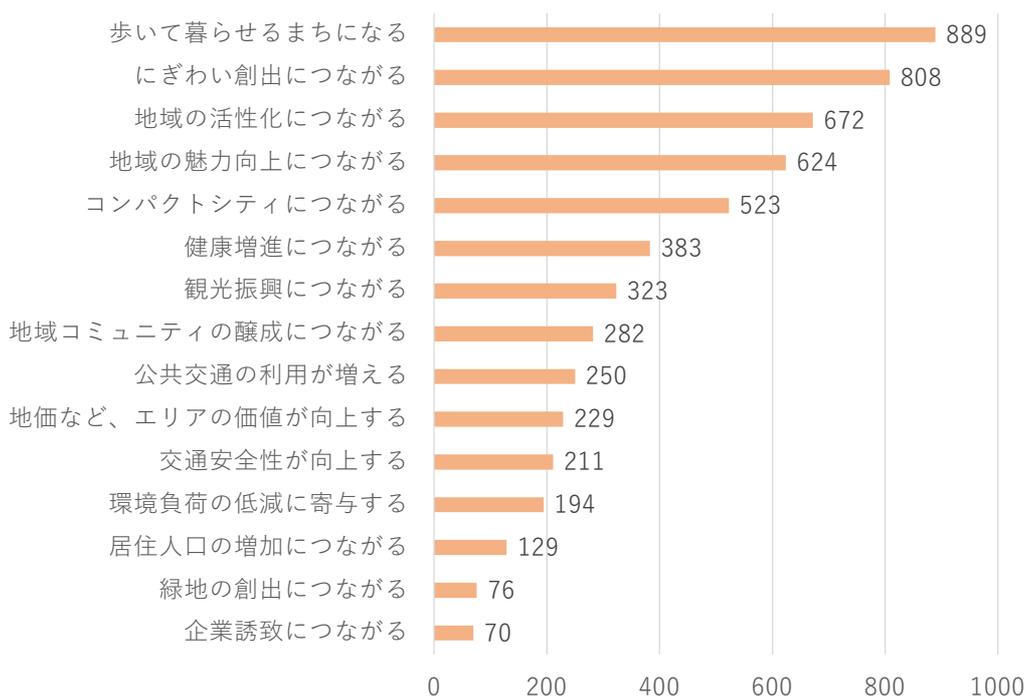
まちなかウォーカブル政策に関する実態調査

【ウォーカブルの取組状況 × 人口規模】



まちなかウォーカブル政策に関する実態調査

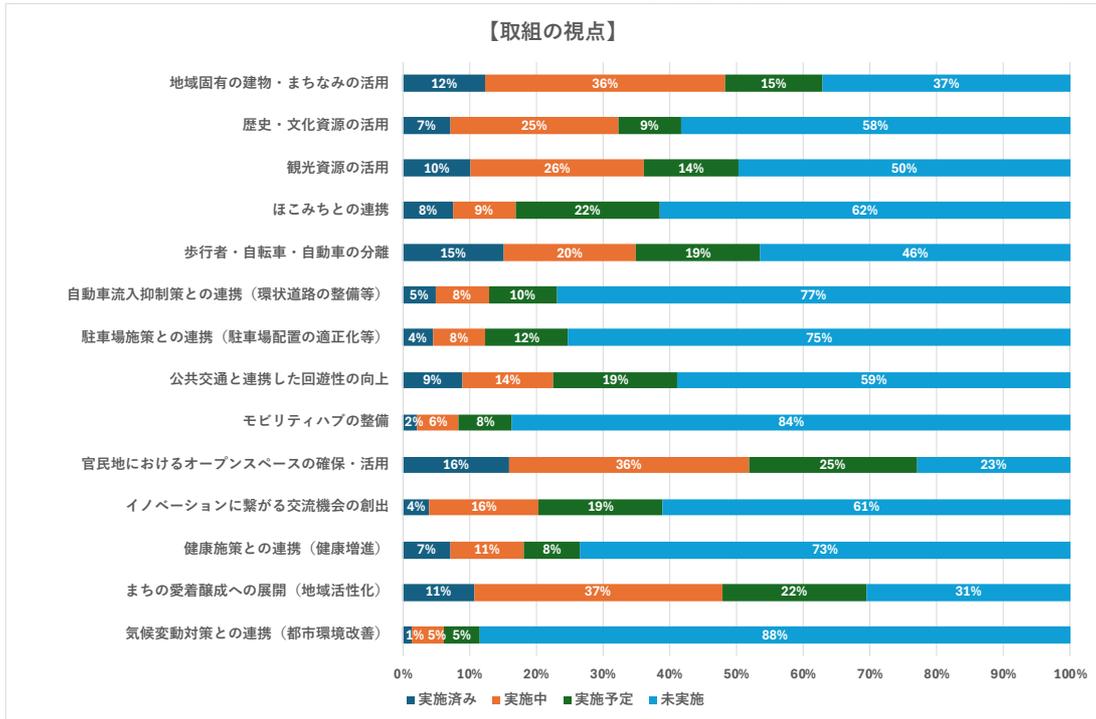
ウォーカブルなまちづくりにするイメージ (N = 1,411)



まちなかウォーカブル政策に関する実態調査

取り組みにあたっての視点

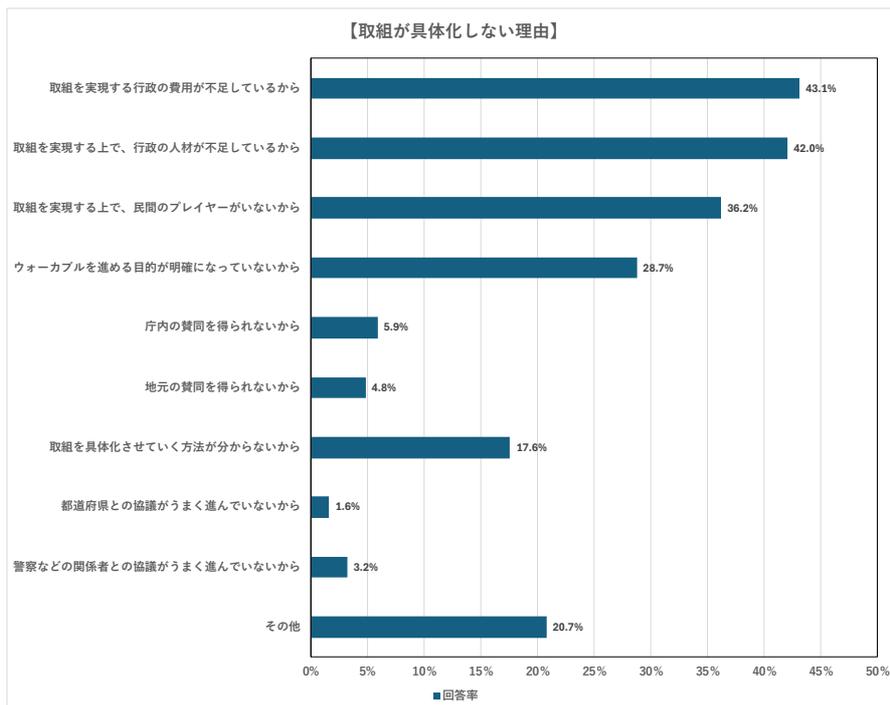
(取組を実施している都市：N = 226 複数回答)



まちなかウォーカブル政策に関する実態調査

取り組みが具体化しない理由

(実現はしていないが、取組を検討中の都市：N = 188 複数回答)

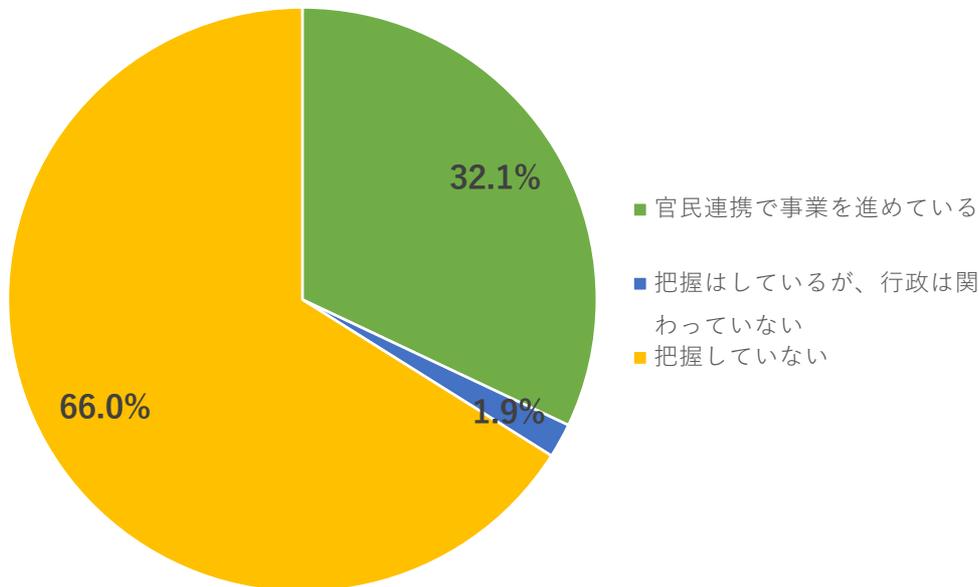


まちなかウォーカブル政策に関する実態調査

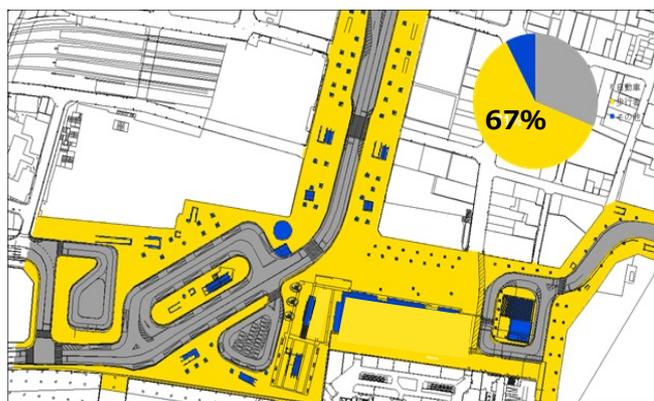
民間事業者との連携

(ウォーカブルに取り組んでいる or 検討中の都市 N = 368)

民間事業者の取組の把握状況

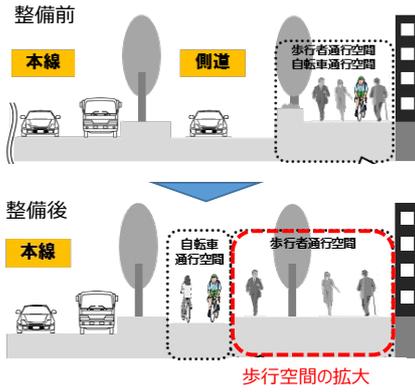


姫路市 / 大手前通り

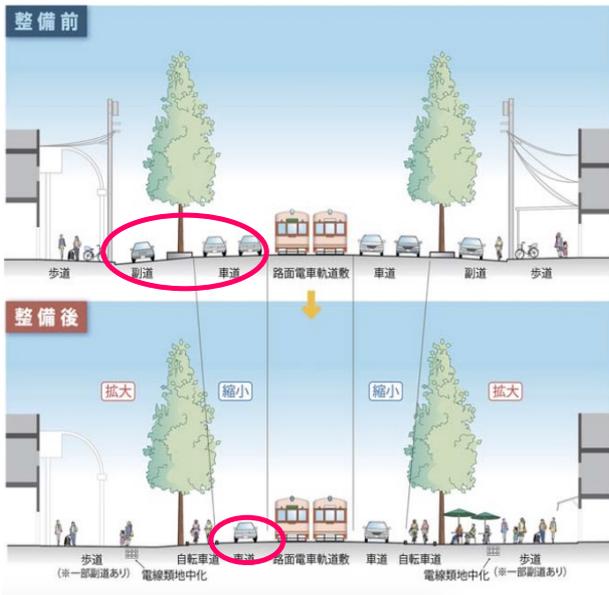


取組効果 → 周辺におけるホテル、マンション建設が活発化、駅周辺の商業地地価は25%上昇（H31：全国7位）など

大阪市 / 御堂筋



松山市 / 花園町通り



取組効果
 ・歩行者通行量が約2倍増。
 ・地価も下げ止まり、0.8%上昇

